



愛知万博・ノルウェーナショナルデー
2005年4月11日(月)
プログラム

ノルウェーナショナルデーには、ホーコン皇太子およびブルゲ・ブレンデ貿易産業大臣が来日し公式行事に参加します。

ナショナルデー式典 (EXPOドーム)

11:00-11:20

ホーコン皇太子臨席のもとナショナルデー式典(国歌演奏、国旗掲揚)開催

11:20-12:00

ノルウェーの音楽コンサート (EXPOドーム)

ノルウェーを代表するトランペット奏者オーレ・エドヴァルド・アントンセンと、歌手のシリエ・ネルゴール(セリア)が出演します。

スペシャル・アトラクション (EXPOドーム) 12:30-20:00

ノルウェーの音楽コンサート

午後も引き続きEXPOドームでコンサートを開催し、6組のアーティスト/グループ(トルド・グスタフセン・トリオ、トーマス・ストレーネン+巻上公一、ファーマーズ・マーケット、アトミックなど)が出演します。いずれも現代ノルウェーの音楽シーンをリードする実力派のアーティストです。

「ノルウェーの自然と水産物 - 絵画コンテスト」表彰式 (EXPOドーム) 15:30-16:00

ノルウェー水産物輸出審議会が、ノルウェーの愛知万博フレンドシップパートナーである愛知県稲沢市祖父江町の協力を受けて行なう絵画コンテストです。祖父江町の小学6年生228人が「ノルウェーの自然と水産物」をイメージした絵画を描き、7名の優勝者を選出します。選ばれた生徒は「ノルウェーシーフード大使」の資格を授与され、ナショナルデーにホーコン皇太子臨席のもと表彰式が行なわれます。なお、万博会場内に絵画作品が展示されます。

EXPOドームで行なわれる行事は愛知万博来場者は無料で観覧いただけます。

プレスコンファレンス(北欧パビリオン) 16:30-17:00

ホーコン皇太子およびブレンデ大臣による記者会見を、北欧共同館のVIPルームで行ないます。

2005年4月11日 愛知万博ノルウェー・デー ノルウェー音楽コンサート

万博ノルウェー・デーには、今をときめくノルウェーの音楽家がEXPOドームに集結します。
クラシック、ジャズ、現代音楽といった枠組みを軽々と飛び越え、自由な精神と音楽性が横溢する彼らの演奏は、万博会場に新鮮な風を吹き込んでくれることでしょう。

Ole Edvard Antonsen (オーレ・エドヴァルド・アントンセン)

世界屈指のトランペット奏者として知られる。ベルリン・フィル、ドレスデン・フィル、BBC放送響、ベルギー国立管、オスロ・フィルなど著名オーケストラをはじめ、世界の名だたる指揮者と共演している。現代音楽にも積極的に取り組み、その音楽性と探究心はあらゆる音楽ファンを魅了してやまない。

Silje Nergaard (シリエ・ネルゴール 日本名「セリア」)

ノルウェーを代表する女性ヴォーカリスト。かつてポップシンガーとしてヒットし来日したこともあるが、現在はヨーロッパ各国で高い評価を得ているジャズシンガーだ。透明感と詩情にあふれる特徴あるヴォーカルは多くのファンを惹きつけている。

Tord Gustavsen Trio (トルド・グスタフセン・トリオ)

ピアノ、ダブルベース、ドラムの若手トリオ。繊細かつ静謐で、聴きやすい曲ながらも決して陳腐に陥らず、飾らないシンプルさが多くの人に訴える力を持つ。ノルウェーの新星だが、既に北海ジャズフェスティバルなどにも出演を果たしている。初来日。

Pohlitz / Thomas Stronen + 巻上公一 (ポーリッツ/ トーマス・ストレーネン + 巻上公一)

ストレーネンはジャズ、エレクトロニック、フリーインプロヴィゼーションなどさまざまな音楽を演奏するドラマーだ。ホームエイの名手としても有名な巻上公一はヴォイス・パフォーマーとして世界各地のフェスティバルに参加する一方、数多くの音楽家と演奏・録音している。

Farmers Market (ファーマーズ・マーケット)

ブルガリアの民俗音楽を駆使してジャズの要素で全体構成されるその音楽は、マイケル・ブレッカーをして「ここ一年で最も素晴らしい音楽」と言わしめた、ジャンル分け不能のスーパーグループ。度肝を抜く超絶技巧と豊かなユーモア精神は世界各地で絶賛されている。サクスのブルガリア人以外は、すべてノルウェー・ジャズの名門トロンハイム音楽院の出身。

Atomic (アトミック)

30代の5人からなるハイテンションのフリー・ジャズグループ。メンバーそれぞれが多方面で活躍する今が旬のグループだ。アヴァンギャルドでありながらノリが良くてダイナミックな演奏は多くのファンの心を捉えて離さない。初来日。



(Jo Michael 撮影)

ホーコン皇太子殿下 His Royal Highness Crown Prince Haakon

ホーコン皇太子は、1973年7月20日ハラール皇太子とソニヤ皇太子妃（当時）の第二子、長男として生まれました。2001年8月25日、メッテ・マーリット・ティエッセム・ホイビーと結婚。2004年1月21日には、イングリッド・アレクサンドラ（Ingrid Alexandra）王女が誕生しました。

ホルテンの海軍士官学校、次いでベルゲンの海軍アカデミーで教育を受けた後、1999年カリフォルニア大学で政治学学士課程を修了しました。2002-2003年、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスで国際政治、特に開発問題について学びました。

1991年7月20日国策会議に初出席。1992年5月22日には議長を務めました。1999年秋、ノルウェー代表団の一員として国連総会に出席し、社会における人種の多様性についてスピーチを行ないました。国連開発計画（UNDP）の親善大使を務めるほか、様々な機関および団体の名誉会員、後援者として活動しています。



ブルゲ・ブレンデ貿易産業大臣 Børge Brende, Minister of Trade and Industry

ノルウェー保守党の副党首を務めたブレンデ大臣は、2期にわたりノルウェー国会議員に選出され、2001年に環境大臣に任命されました。2004年より現職。貿易産業大臣としての任務のかたわら、国連の持続可能な開発委員会の議長を務め、ハーバード大学、マインツ大学で講演を行なうなど、その活躍

は多岐にわたります。

略歴

1965年9月25日生まれ。既婚。子ども2人。
ノルウェー科学技術大学 学士課程修了。

2004-	貿易産業大臣
2001-2004	環境大臣
1997-	スールトロンデラーク県選出国會議員（2001年まで財務・経済常任委員）
1994-1998	保守党副党首
1992-1997	トロンハイム市議会議員、保守党グループリーダー
1990-1992	Brende Entreprenør 社財務部長
1988-1990	保守党青年部リーダー
1986-1988	保守党青年部副リーダー
1986-1987	保守党国会グループ政治アドバイザー
1985	保守党青年部政策秘書